

1

2

3

4

5

6

7

【購入特典】

あまあま耳舐めオナサポ委員会

10

11

12

13

14

15

16

17

18

作 二重スリット

19
20
21
22 このたびは二重スリット第一作
23 「あまあま耳舐めオナサポ委員会」をご購入頂きまして、
24 誠にありがとうございます。
25
26
27

28 【ご注意】

29 この作品は著作権法により保護されております。
30 無断複製および販売、この作品を使用した収録の公開、
31 販売、インターネットへの無断アップロード、
32 その他、著作権者の権利侵害をもたらすあらゆる行為を
33 難く禁じます。

34 ！。 プロローグ…可愛い後輩が戸惑いながら

35

36 (SE) チャイム

37 (BGM) 昼休みの学校の喧噪(薄く)

38 午前中の授業が終了し、学園内は学生達の喧噪に包まれる。

39 その時、主人公(リスナー)の背後に気配を感じる。

40 【13】

41 後輩 「……先輩？」

42 【6↓ー】

43 後輩 「せっかくのお昼休みなのに、呼び出してすいま
44 せん」

45 【ー】
46 後輩 「実はちょっと相談があって、あの……」

47 【ー】
48 後輩 「私のクラスで委員会決めがあったんです……」

49
50
51 後輩、逡巡の吐息

52 後輩 「そこで私、図書委員に決めたんです。本が好き
53 だから。でも、その、知らなかったんです……」

54 【ー】
55 後輩 「図書委員会の別名がその――」

56 【3mー】
57 後輩 「(耳元で恥ずかしそうに)『あまあま耳舐めオナ

58 サポ委員会』だったなんて……！」

59
60 後輩、赤面。後輩が口にしたその別名に先輩は呆気にとられる
61

【一】

62 後輩 「性に悩む学生のため、放課後、『特別活動』を

63 ……それがこの学園の伝統……」

64 【一ト】

65 後輩 「でも、あの、私……上手くやれるか不安で……

66 ……だって……」

67 【二ヨリ】

68 後輩 「（耳元で）そ、そういう経験なんてしたこと
69 ない……『ば、ばーじん』ですから……」

70 【二トード】

71 後輩 「でも、いまさらナシに出来ないじゃないですか。

72 だから、その、先輩……んく………！」

73
74 後輩、逡巡の吐息。
75

76 【二ヨリ】

77 後輩 「（耳元で）先輩で練習させてもらえませんか？」

78 【一】

79 後輩 「こんな相談できるのは先輩しかいないんです。

80 先輩がイヤなら無理強いしませんし、ええ！」

81 【一】

82 後輩

「こんな変なことを言い出して本当にごめんなさい。でも先輩、もし手伝ってくれてもいいなら……」

85 【一】

86 後輩 「今日の夕方、私の家に来てくれないでしょうか？ 考えておいてください。あの……」

88 【一】

89 後輩 「私、先輩しか頼れないんです。だから——」

90 【一】

91 後輩 「あっ、そろそろ私行かなきゃ。その、『委員会』の最初のあつまりがあるんです……うう」

93 【一】

94 後輩

「あの、よろしく願います。失礼しますっ」

96 (SE) すたと駆け足で去る音

97 (BGM) 昼休みの喧噪

98 F/O

100 トラッカー 終了

102

2. オナサポ活動のために一生懸命舌遣いを練習する後輩

104

(SE) 住宅街の環境音(遠)

※AVでよくある外から聞こえる音

106

【一】

108 後輩 「来てくれてありがとうございます、先輩。本当

109

に助かりました……」

110 【一】

111 後輩 「実はあの子の集まりで、私の当番が明日になっ

112

ちゃって……」

113 【一】

114 後輩 「もし先輩が来てくれなかったらどうしようっ

115

て……実は今もドキドキしちゃってて……」

116 【一ヨリ】

117 後輩 「……実は、その集まりで裏業務……『あまあま

118

耳舐めオナサポ委員会』のマニュアルをもらった

119

んです。一通り目を通したんですが、上手くでき

120

るかな……さっそく練習させてください」

121

【一→三】

122

123 後輩 「先輩、目を閉じて力を抜いてください、ん……」

124

【三ヨリ】

125 後輩 「（吐息混じりで耳にキス。軽め）んんっ……ち

126 ゆ、ちゅ、ちゅちゅっ……」

127 【メモリ】

128 後輩 「そのマニュアルにはこう書いてありました」

129 【メモリ】

130 後輩 「ちゅ…『この活動はあくまでも、成長期特有の

131 ……』」

132 【メモリ】

133 後輩 「ちゅ、ちゅちゅ……『性に対する欲求不満を解

134 消するのが目的で、決して不純異性交遊を推奨す

135 るものじゃない』って……」

136 【メモリ】

137 後輩 「だから、この段階で相手が満足すれば終了する

138 こと——ちゅ」

139 【メモリ】

140 後輩 「だが、これで相手が満足しなければ継続する…

141 …先輩、どうですか、スッキリしましたでしょう

142 か……もしまだ物足りないのなら……んく」

143 【メモリ】

144 後輩 「（少し強く）ちゅ、ちゅぷ、ちゅる……ちゅっ、

145 ちゅっ、ちゅちゅ……ん……ちゅちゅちゅっ、ち

146 ゆぷ……んん……はあはあ……」

147 【3】

148 後輩 「先輩、あの、くすぐったくないですか……？

149 だって私がキスをし始めた途端、お身体がひくひ

150 くしちやってるから……」

151

152 【3ヨリ】

153 後輩 「ちゅ、ちゅむ……でも、もし気持ちいいって感

154 じてくれているんだったら……少し嬉しい……」

155 【3ヨリ↓3】

156 後輩 「ちゅ、ちゅちゅっ、ちゅっ、ちゅ、ちゅく……

157 はあ……はあ……せんぱあい……あの、ちゅっ……

158 ……継続の場合はもっと舌で舐る』って……練習さ

159 せて……ください……」

160

161 【3ヨリ】

162 後輩 「あ……む……！」

163

164 後輩、耳を咥えて舌を積極的に。耳の穴には舌を入れない。外耳舐り。

165 【3ヨリ】

166 後輩 「ちゅりゅ、れりゅ、ぢゅる、れちゅ、ぷあ……

167 はあはあ……はむ……じゅる、れりゅ……ん……

168 (啜えたまま) 先輩の耳、すごく美味ひい……」

169 【3ヨリ】

170 後輩 「なれりゅ、りゅむ、ちゅりゅりゅりゅ……んん

171 ……じゅるる、ぷあ、はあ……はあ……んく……

172 せんぱあい……これってすごくえっちい……!」

173 【3ヨリ】

174 後輩 「んじゅ、ちゅぷ、ちゅ……先輩……はあはあ……」

175 【3ヨリ↓6↓7】

176 後輩 「(蕩けて) 私、こんな事を生まれて初めてだけ

177 ど……なんだか嵌まっちゃいそう……」

178 【7ヨリ】

179 後輩 「こっち(右耳)も……あむ、れりゅ、るちゅ、

180 ちゅる、じゅるろろろろろろ……先輩……」

181 【7ヨリ】

182 後輩 「(息を耳に)ふうー……美味しいれしゅ……!」

183 【7ヨリ】

184 後輩 「あむ、ちゅる、あむ、ちゅぷ、ふえ、ふえんふ

185 あい(先輩)、もっと、もっと気持ちよくさせて

186 あげまひようは……ちゅ、ちゅちゅちゅ、じゅる

187 ……れる、れりゅ、ちゅるむ、じゅるる……じ

188 ゆっ、ちゅ、ちゅくりゅ……じゅるるる……(口

189 を離して）ぷはっ……はあ……はあ……！」

190
191
192 後輩、耳から口を離し、溢れた唾を拭う。息はいまだに荒い。

【一】

193 後輩 「んく、これでもまだ物足りないっていう人のた

194 めに最後に奥の手があるって……委員長が……」

195 【一】

196 後輩 「その方法を聞いたとき、私にはとても無理だっ

197 て思ったんですけど、今ならできるかも……んく」

198 【二ヨリ】

199 後輩 「（耳元で囁き・恥。）その奥の手って……お耳の

200 穴のできるだけ奥う……舌をねじこんでたっぷ

201 りねぶるんです……」

202 【三ヨリ】

203 後輩 「（外耳舐り）ねちゅ、じゅりゅり……今まで以

204 上にぞくぞくしちゃうって……はあはあ……練

205 習させてくださあい、んっ、はあ……はむう……

206 （耳の奥に舌をねじ込む）んぬぶお……！」

207

208 ※ここから音圧高いというかくぐもった臨場感マシマシで。

209 ※舐めながら、鼻呼吸や吐息など適宜入れて構いません。

210 【三ヨリ】

211 後輩 「ぬぶぶぶ、ん……んぬぶ、ぬぶりゆる……ん

212 ぐぐぬるる……ぬぽっ、ぬりゆれるる……ちゅぶ、
213 ん……ぬるるる……！」

214 【メモリ】
215 後輩 「(恥)ですか……気持ちいいですか……？」
216

217 【メモリ】
218 後輩 「ぬりゆるるるるる……ん……ぬちゆるる
219 るるるるれりゆんるる……はあはあはあ……」

220 【メモリ】
221 後輩 「(囁き)私——『あまあま耳舐めオナサポ委員
222 会』のお仕事……できますか……？」

223 【メモリ】
224 後輩 「ん、ぬるるりゆはむりゆるるるるる
225 ……ん……ぬりゆるるるる……」

226 【メモリ】
227 後輩 「先輩、こっちの耳ばかりじゃ……ぬぐぬぶぬ
228 るるろろろ……」

229 【メモリ】
230 後輩 「焦れたいですよね……反対も……してあげま
231 すね……ん……(舌を抜く)ぬぽ……」

232 【メモリ→5→7】
233 後輩 「はあ……はあ……(外耳にキス)ぬちゅっ……」

234 はあはあ……!」

235

236 【メモリ】

237 後輩 「(耳元で) 先輩の耳……いただきまあす……」

238 【メモリ】

239 後輩 「(耳奥に舌を) ぬぐ……ぬぐるるるるるるる

240 る……(舐めながら) 美味ひい……ぬるるるるる

241 れろれろれろれろれろ……はあはあ……(囁

242 き) 先輩、なんだか私の身体も……んんっ、ぬぶ

243 るるるるるるるる……どうですか……もや

244 もやしたのがスツキリしますか……? んぬう

245 ううるるにゆるるるるる……! もっと、も

246 っと気持ち良くなって、先輩——ぬぶるろろろろ

247 ろろろろろ……!」

248 【メモリ】

249 後輩 「(耳元で) こういうのってどうですか? 感じ

250 ますか……えっちな動画サイトで勉強したんで

251 す……そんな私っていやらしいですか……?」

252 【メモリ】

253 後輩 「ぬぶるるる……軽蔑しちゃいますか?」

254

255 【7ヨリ】

256 後輩 「ぬぶるるるるるるるるるる……でもこ

257 れも大切な委員会のお仕事で必要な事だから…

258 ……」

259 【7ヨリ】

260 後輩 「ぬぶるれりゅ、はむ、ちゅむりゅ、れりゅ……

261 それに……先輩にがっかりさせたくない……！」

262 【7ヨリ】

263 後輩 「ぬびゆるるるるるるるるるるるれちゅちゅるりゅむ

264 るるる……ぷあ、はあはあはあ……んっ……だ

265 から、少しでも気持ち良くなってください……先

266 輩……」

267 【7ヨリ】

268 後輩 「（耳を啜えて）あむっ、はむ、ちゅぶ、ちゅり

269 ゆれちゅ、れろれろれろ……ちゅっ、ちゅちゅち

270 ゆっ、んんっ……（耳奥に舌を）ん……も……れ

271 ぬ……ぬぶるるるるるるるるるるれりゅはむ……！

272 ぬぶ、れりゅ、ぬりゆるるるるるるるるるるる

273 っ、はあはあ、これ、クセになっちゃいまふ……」

274 【7ヨリ】

275 後輩 「ぬぶるるるるる、んん、ぬちゆる、はむ、は

276 みゆ、れりゆ、ちゅむ、ぬぶるるるっ……」

277 【フヨリ】

278 後輩 「ぬぶるるるるるっ、んふっ、ちゅむ、れりゆ、

279 （感じる後輩）んん……はあはあ……なんだか私
280 もメロメロになっちやいそうでしゅ……！」

281 【フヨリ】

282 後輩 「はあはあ……ぬぶるるるるれりゆちゅぶる…

283 …！ おへその下あたり……じゅんってするよ
284 うな感じがさっきからずっと……いっぱいご奉
285 仕なきや……これは立派な委員会のお仕事な
286 んだから……悩んでいる子をスッキリさせるた
287 めに、なめなめぬるぬるにしてあげないと……」

288
289 【フヨリ】

290 後輩 「んん……ぬちゅぶ、ちゅぶる、れりゆ、んん…

291 …ぬぶるるるるるる……！ 先輩、もっと
292 感じてください」

293 【フヨリ】

294 後輩 「ちゅぶるるる、そうすれば私ももっと熱くなっ

295 ちやう、んんっ……！ 私ってダメな子ですよ、
296 だってご奉仕しなきゃいけないのに、なんだか身
297 体が熱くなっているんですもの……んんっ——」

298 【フヨリ】

299 後輩 「ぬぶるるるるるれりゅ、はむ、じゅる、じ
300 ゆちゅる、ぬちゅろろろろろ……はあはあ……
301 ……だめ、舐めれば舐めるほど身体が……！」

302 【フヨリ】

303 後輩 「んぬっ、ぬぶるるる、れりゅぬぶぼりゅる……
304 ……んんっ、ら、らめ、なんだからひ、んんっ！」

305 【フヨリ】

306 後輩 「ぬぶるる、ぬちゅるる、ちゅむちゅる、んんっ、
307 ふあ、らめ、あ、あ、あ、んんん……
308 ……ッッッ！」

309 【フヨリ→】

310 後輩 「(舌をねじ込んだまま) んふー……んふー……
311 (舌を抜く) ぷ……あ……じゅる……はあ……はあ

312 ……はあ……ご、ごめんなさい先輩……最後はな
313 んだか自分だけで盛り上がっちゃって……こん
314

315 なにビクビクってしちゃったの……生まれて初
316 めて……はあ……はあ……！」

317 【一】

318 後輩 「明日の当番は上手に出来るかな……ううん、そ
319 んなことない、先輩が協力してくれたおかげでき
320 っと上手に出来るはず！ だから先輩、私しっか
321 り頑張ります！」

322 【一】

323 後輩 「私、明日……ムラムラしっぱなしの男子のため

324 に、いっぱい、れろれろぬちゅぬちゅやってきま
325 す！」

326

327 トラック2終了

328

329 3. 今日も耳舐め練習に付き合ってたら、ディープキスに嵌

330 まっちゃったボク（ゝ20分）

331 放課後。図書準備室にて。

332 （SE）放課後の校内環境音と校庭の野球部の掛け声など。かすかにざわついて
333 いる。

334 （SE）引き戸が開く音。

335 【12→10】

336 後輩 「失礼しまーす、活動前のミーティングが長引い

337 ちゃって、待たせてすいま——って……えっ？」

338 【10→9】

339 後輩 「せ、先輩じゃないですか……！ どうして……」

340 【9→1】

341 後輩 「じゃあ、もしかして私をご指名って先輩……？」

342 【1】

343 後輩 「それって、私の初当番を心配……とか……？」

344 【1】

345 後輩 「それとも……その……単純にムラムラで……」

346 後輩、
347 恥ずかしくて尋ねにくい。

348 【1→】

349 後輩 「スッキリしたい……とか……？」

350 【1→1→1】

351 後輩 「先輩……ありがとうございます。どちらにして

352 も嬉しいです。だって……」

354 【一】

355 後輩 「だって私……初めてのお仕事で緊張してたん

356 です。あと……先輩との練習で覚えたことをしっ

357 かりできるかな……とか」

358 【一】

359 後輩 「それが先輩となら、緊張がほぐれそう……ほん

360 の少しだけですけど……ね？」

361 【一】

362 後輩 「……っと、いけない。このままじゃ私、お喋り

363 ばかりで時間を稼いじやってるみたい。さっそく

364 はじめましょう？」

365

366 【一↓三】

367 後輩 「先輩、私、あの、がんばりますね。失礼しまー

368 す…」

369

370 後輩、先輩に身を寄せる。互いの顔が間近になる距離感。正面。

371 間。冒頭から続く環境音が数秒続く。互いに無言だ。

372 ここから後輩は原則として囁き。密着観重視で芝居をください。

373 【三エリ】

374 後輩 「（囁き）目を閉じて、力を抜いてくださいね…」

375 後輩、先輩の左外耳付近にキス。まだ舌は使わない。

376 次セリフのようにキスをしながら、

377 【三エリ】

378 後輩 「……ちゅ……ちゅっ、ちゅ……ん……、ちゅ、

379 ちゅぷ……はぁ……先輩……かわいい……」

380 【3ヨリ】

381 後輩 「んっ、ちゅ、ちゅく、ちゅっ、ちゅ……ん……

382 ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……ん……」

383 【3ヨリ】

384 後輩 「ちゅっ、ちゅちゅ、ちゅく……ん、はぁ……ち

385 ゅちゅ、ちゅ、ちゅ……ん……」

386 【3ヨリ】

387 後輩 「んちゅ、ちゅ、ちゅぷ、ちゅ……（左頬や顎に

388 キス）ちゅ……ちゅちゅ……ちゅっ……ぁ、今ち

389 よっただけ、ひくひくって……うれしい……！」

390 【3ヨリ】

391 後輩 「そんな反応をしてくれたら、もっと頑張りたく

392 なっちやいます……ちゅ、ちゅちゅ」

393 【3ヨリ】

394 後輩 「先輩、そのまま少しだけ顔を右に傾けて……ち

395 ゅっ……」

396 【3ヨリ→4ヨリ】

397 後輩 「首筋を見せて——先輩の、綺麗——」

398

399 後輩、先輩の首筋に唇を這わす。

400 【4ヨリ】

後輩 「ちゅ、ちゅちゅっ、んふ……ちゅ、ちゅぷ、ち

402 ゆ、ふえんふあい（先輩）、んっ……（軽く吸う）

403 んちゅうううううう……ん、（鼻呼吸）ふ

404 ー……ふー、んっ——（先ほどより強め）ちゅう

405 ううううう……んはっ、（軽い呼吸）はあはあ

406 ……いけなあい、規則を破るところでした……。」

407 【4ヨリ↓2】

後輩 「ルールなんです。キスは禁止って……。」

409 【2】

後輩 「それに勘違いされちゃう事も……あくまでも

411 健全な学生生活を支える活動ですから……。」

412

後輩、先輩の左耳元に唇を寄せる。

413

414 【2↓3ヨリ】

後輩 「でもその代わりに……（左外耳に）ちゅ、ちゅ

416 っ、ちゅく、ちゅちゅ……ちゅぷっ、ゆっ……。」

417 【3ヨリ】

後輩 「こんな感じの軽ういキスから……ちゅ、（舌使

419 い、軽く）ちゅる、ちゅぷる——」

420 【3ヨリ】

後輩 「（徐々に舌使いのピッチを上げて）——れちゅ、

421

422 ちゅぷる、ちゅっ、ちゅっ、ちゅぷる、れちゅ…
423 …りゅむちゅちゅ、じゅっ、ちゅぷる、はあはあ
424 ……れろん……ん……れろれろれろ……ちゅっ」

425 【メモリ】

426 後輩 「(耳に息。優しく) ふー…ふふ、こうい
427 うの、気持ちいいですか、せんぱあい……れりゅ、
428 ちゅりゅむ、ちゅじゅる、りゅちゅ……む……」

429 【メモリ】

430 ★後輩 「(舌を使いながら) でも、まだまだもっと気持
431 ちよくなりますよ……」

432 【メモリ】

433 後輩 「(外耳を咥える) はむ……ん……(舐め) れり
434 ゆれりりゅむれちゅじゅちゅちゅむりゅ、んっ、
435 じゅちゅぷ、れろ、りゅむ、ちゅるじゅじゅじゅ
436 ちゅ……(唇をゆっくり離して) ぷ、は……」

437 【メモリ】

438 後輩 「はあ……はあ……先輩、ずっとびくびくしてる
439 ……とてもえっち……はあはあ……!」

440 【メモリ】

441 後輩 「こっちもしてあげますからね……先輩、もっと

442 いっぱい気持ちよくなってください」

443 【メモリ】

444 後輩 「はむっ、れりゅう……ちゅりゅちゅ、じゅちゅ、

445 れろ、れりゅ、ちゅりゅむ、じゅりゅ……、れろ、

446 りゅちゅ、れろ、りゅむ、んっ……ちゅっ、れろ

447 れろれろんっ、じゅちゅるむ、ちゅるる、ちゅぶ、

448 んちゅぶ……じゅちゅ、ちゅむ、れろ、はむ、じ

449 ゆるる、じゅぶる、ぶちゅちゅ、れろ、はむ、ち

450 ゆぶる……はあはあ……なんらかわらひっ、んっ、

451 ちゅ、ちゅぶる、ちゅちゅぶ、ちゅりゅりゅ、じ

452 ゆるっ、れちゅ、はみゅ、ちゅ、ちゅっ、ちゅぶ、

453 わら……ひも……ちよつとらけ……ちゅぶ、ちゅ

454 じゅるるる……——んんっ！..」

455 【メモリ→8】

456 後輩 「ぶ……は……んくっ。はあ……はあ……ちよ、

457 ちよっただけピッチあげすぎちゃいました。ごめ

458 んなさい、先輩……私だけが勝手に★盛り上がっ

459 ちゃって……まだペースを上手く掴めませんね。

460 でも先輩……まだご満足じゃないですよね…

461 …?。」

462 【8】

463 後輩 「だって、まだしてあげなきゃいけないものがあ

464 るんですもの……この間のア・レ——」

465 後輩、耳元でねっちりと

466 【8ヨリ↓7ヨリ】

467 後輩 「(囁き) お耳のアナの奥の奥を……私の舌で…

468 …ね? 先輩、全身をリラックスして……いきま

469 すよ……んあ——」

470 ※この耳奥責めがメインなのでセリフ以上に尺をかけて構いません。

471 【7ヨリ】

472 後輩 「(舌を尖らせて耳奥へ) ぬぶぐぐぐ……ん……

473 ぬぶ……ぬぐ……ぐぽ……ん……ぬぶ、ぬぶ、ぬ

474 ぶぶ……ぬぼっ……ぬぼっ……ぬぼっ、ぬぶぼぼ

475 ぼぼぼぼぼぼぼぼぼ……んぼっ、んぼっ、んぼ

476 っ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、

477 んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼ

478 っ、んんっ——んぼっんぼっんぼっんぼっんぼっ

479 んぼっんぼっんぼっんぼっんぼッんぼッんぼッ

480

481

482 んぼッんぼッんぼッんぼッぐぼぐぼぐぼぐぼぐ
483 ぽぐぼぐぽぐぽぐぽンンンンン——ぷあっ、あ
484 ふ……はあ……はあ……」

485 【7ヨリ→5ヨリ】

486 後輩 「先輩、反対側もしてあげますからね……今より
487 もっとしちやいますから——」

488 【3ヨリ】

489 後輩 「ンあ……（舌を尖らせて耳奥へ）ぬぶぬぶぬぶ
490 ぬぶぬぶぬぶぬぶぬぶぬぶ……ッ……んク
491 ツ……ぬぶぐぐぐ……ん……ぬぶ……ぬぐ……
492 ぐぽ……ん……ぬぶ、ぬぶ、ぬぶ……ぬぼっ…
493 …ぬぼっ……ぬぼっ、ぬぶぼぼぼぼぼぼぼぼ
494 ぼぼ……んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼ
495 っ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、
496 んぼっ、んぼっ、んぼっ、んぼっ、んんっ——ん
497 ぼっんぼっんぼっんぼっんぼっんぼっんぼっん
498 ぼっんぼっんぼッんぼッんぼッんぼッんぼッん
499 ぼッんぼッぐぼぐぼぐぼぐぼぐぼぐぼぐぼぐぼ
500 ぐぽンンンンン——（このまま）先輩、ずっと

501 —ぬじゅぶるるるる……フフ……ひくひ
502 くしっぱなし……ぬぼっ、ぬぼっ、ぬぼ
503 っ……嬉しい……ぐぼぐぼっ、ぐぼぐぼっ、ぐぼ
504 ぐぼっ、ぐぼぐぼっ、ぐぼぐぼっ、ぐぼぐぼぐぼ
505 ぐぼっ、ぐぼぐちゅぶおっ、ぐぼぐぼぐぼぐちゅ
506 ぼぐぼぐちゅぶぼぐぼぶぼぶちゅびぼぼ
507 っ……はあはあ……んっく……ぐぶぶぶぶぶ
508 ぶぶぶぶぶぶぶぶ……くッ……はあはあ……
509 ひあっ……」

510 【comi】

後輩

511 「らめ……ちゅぶぶぶぶ……なんだか……ぐぶ
512 ぶぶぶぶぶぶぶぶじゅるれちゅちゅぶる
513 ぶじゅむむむぐぶぶぶぶぶぶぶぶぶ……
514 私の身体が……はあはあ……熱くなって……お
515 仕事、お仕事しなきゃ……ぐぶぶちゅぶる、ちゅ
516 ぶるるるるるる……（勢いよく舌を抜い
517 て喘ぎ）ちゅぱハアンッ！」

518
519
520

身悶えて思わず舌を抜いた後輩。
ここからしばらく距離を感じるボイスで。

521 【3ドローヨリ】

522 後輩 「はあ……はあ……はふ……せんぱあい……（キ

523 ス）んちゅッ！ ん……ん……ん……」

524

525 （SE）強く抱きしめ合う衣擦れ音

526 ※このキスは舌入れはなし

527 【一ヨリ】

528 後輩 「ぶあ……はあ……はあ……ごめんなさい……

529 ちゅっ……急にこんな……んちゅっ……ちゅ…

530 …んん……ぶあ……でも声が出そうになっちゃ

531 って……その……キスは禁止行為なのに……！」

532 【一ヨリ】

533 後輩 「でも、その……このままじゃ声が出そうになっ

534 ちゃって……だから塞いで欲しくて……先輩の

535 唇で……ちゅ、ちゅっ、ちゅ……ん……！」

536 【一ヨリ】

537 後輩 「だから、あの、先輩——んんっ！」

538 【一ヨリ】

539 後輩 「私、ベロですごく感じちゃうみたい……だから、

540 その……最後はこんな感じのまま……」

541 【一ヨリ】

542 後輩 「もっとキスをください……（ゆっくりと）は…

543 …む……………！」

544

ここからディープキス。

545 ※骨伝導っぽく、体内から響く感じで

546 (SE) ぬちゅ、と指を先輩の右耳奥に突っ込む。

547 (SE) ぐちゅぐちゅ。リピート

548 【ーヨリ】

550 後輩 「れ…………ろ…………はむ、れろ、れちゅ、ちゅりゅむ、

551 んちゅ…………★」

552

(SE) ぬちゅ、と指を先輩の左耳奥に突っ込む。

553 (SE) ぐちゅぐちゅ

554 ※後輩のセリフは両耳責めのせいで更にぐもって聞こえる。

555 【ーヨリ】

557 後輩 「せんぱあい…………はちゅ、ちゅぶ、れりゅちゅ、

558 ちゅぶる、れりゅちゅりゅむ——んんあ…………つく

559 ふ！ りゅれおりゅちゅちゅぶちゅぶ、れちゅち

560 ゆぶむりゅちゅぶちゅぶじゅるるる…………は

561 あはあ…………んんっ…………」

562 【ーヨリ】

563 後輩 「舌を尖らせて…………ん…………」

564 【ーヨリ】

565 後輩 「(舌フェラ) はみゅ…………じゅ…………ぽ…………じゅ…………

566 ぽ…………じゅぽ…………じゅ…………ぽ…………じゅっぽ、じゅ

567 っぽ、じゅっぽ、じゅっぽ、じゅっぽ、じゅっぽ、

568 じゅっぽ、じゅっぽ、じゅっ……んはうんっ！

569 じゅぽっ、じゅぽっ、じゅぽっ、じゅぽっ、じゅ

570 ぽっ、じゅぽっ、じゅぽっ、じゅぽっ、じゅぽっ、

571 じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ

572 じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ

573 じゅぽじゅぽ……はうあっ、は、ひあああっ、だ、

574 だめえ……も、もう、あの、その……私、い、い

575 く、ベロイキしちゃうっ、あ、あ、あ、あ、あ、

576 あ、あっく……んちゅうううううううッ――

577 ハッ――！」

578 【ーヨリ】

579 後輩 「（絶頂）ン――……………ッ！」

580 【ーヨリ】

581 後輩 「（唇をゆっくりと離す）ぷ…あ…はあ…は

582 あ……は……ふ……ごめんなさい……最後は私

583 ばっかり気持ちよくなっちゃって……うう……」

584 【ーヨリ】

585 後輩 「（戸惑い）でも舌で感じるなんて……うう……

586 先輩、あの……」

587 【一ヨリ】

588 後輩 「よければまた練習させてもらえませんか：

589 …？ 私、このままだと委員会のお仕事^が勤まり
590 ません……こんな中途半端に終わっちゃって申
591 し訳ありませんから……」

592

593 トラック3 了

594

595 4. 勃起の切なさを知ってしまい、次のステップに進みたい

596 と言いだした後輩

597 (SE) 放課後の環境音を薄く

598 (SE) 引き戸を開ける

600 【9↓1】

601 後輩 「いらっしやいま——（嬉）先輩……！」

602 【1】

603 後輩 「こうしてしっかりお仕事が出来るのは先輩の

604 おかげですけど少しだけ複雑です。だって、いつ

605 もお相手は先輩ばかりで………って、あ、別に

606 他の子に興味があるとかじゃなくて……うう」

607 【1】

608 後輩 「変な事を言わせないでください、もう……ふふ」

609 ふっ、と間。ほどよく。短く

610 そして次セリフでキス。すぐにディープキスを。深めにしばらく。唾液音を多めに。

611 【1ヨリ】

612 後輩 「ちゅ……ちゅ、ちゅぶ……はむ、（舌を）れり

613 ゆ……れゆ、ちゆりゆ、れりゆ、っちゅ、ちゅむ、

614 はむ、れりゆ、んりゆ、れりゆ、ちゆりゆむ……

615 れろ……ふえんふあい、舌らして……はむ、れり

618 ゆ、ん……（舌フェラ）ちゅぷ、ちゅぷ、ちゅり
619 ゆ、ぷちゅ、んん……ちゅぽっ、ちゅぽっ、ちゅ
620 ぽっ、ん……ちゅっぽっ、ちゅっぽっ、ちゅっぽ
621 っ、ちゅっぽっ、ちゅっぽっ、ちゅっぽっ、ちゅ
622 っぽっ、ちゅっぽっ、んん、じゅるる……ちゅ
623 りゆれりゅちゅぶちゅぶちゅ、じゅるるるる
624 る、んん……」

625 【ーヨリ】

626 後輩 「（ねつとりと唇を離す）ぷ……は……ちゅっ、
627 ちゅちゅ……ん……はふ……はあ……ふふ、どう
628 でしょう……ちよっただけ積極的にしちやいま
629 した……♪ ちゅっ、んんちゅ……勉強したんで
630 す、それなり……に。その……委員長直々に指導
631 してもらったり……とか」

632 間。短く。

633 【ーヨリ】

635 後輩 「どうかしたんですか？ あっ、や、先輩もしか
636 して……ふふ、安心して下さい、委員長は女の人
637 ですよ、（頬に）ちゅっ、ふふふ……（唇に）ち

638 ゆっ、ちゅううう……ふふふ、今ちよっと焦った
639 顔になって、可愛い♪」

640 【ーヨリ】

641 後輩 「ん…ちゅ、ちゅぷ、はむ……（舌を）ちゅりゅ、

642 れりゅ、れろれろろ……んちゅ、ちゅりゅ、じ
643 ゆる、れりゅれちゅじゅるじゅるるるるる…

644 …ん……ふえんはあい（先輩）、ん……んちゅぷ、
645 ちゅむりゅ……れろ、はみゅ、ちゅりゅ……わら

646 ひ（私）……（舌を絡ませたまま、やらしく）キ
647 ス、上手くなりました……？ んん、ちゅむ、れ

648 りゅ、ちゅ、じゅる、れりゅれろ、はみゅ、じゅ
649 るるっ、んんっ、（息継ぎ）ぷあ、はあはあ……

650 委員長に仕込まれちゃいまして……はむ……」

651 【ーヨリ】

652 後輩 「（舌フェラ）ちゅぽっ、ちゅぽっ、ちゅぽっ、

653 ちゅぽっ、ちゅぽっ、ちゅぽっ、んくっ……（も
654 っとリズムカルに）ちゅっぽ、ちゅっぽ、ちゅっ

655 ぽ、ちゅっぽ、ちゅっぽ、ちゅっぽ、ちゅっぽ、
656 ちゅっぽ、ちゅっぽ、ちゅっぽ、ちゅっぽ——」

657 【一ヨリ】

658 後輩 「(浅く速く)ちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽ

659 ちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽ

660 ちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽちゅぽっ……

661 ん……ふう……じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅ

662 ぽじゅぽゆぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ

663 じゅぽ……(深く啜えたまま)んんっ……(啜を

664 すする)ずぞぞ……ん、ふぁ……はぁ、はぁ……」

665 【一ヨリ↓2ヨリ↓8ヨリ】

666 後輩 「(唇以外の顔中に、ゆっくり)ちゅっ、ちゅ…

667 …はふ……」

668 【7ヨリ】

669 後輩 「はむ、ちゅりゅ……ちゅっ、ちゅぶ、ちゅ、ち

670 ゆっ、先輩の顔……あっつい……」

671 【7ヨリ↓一】

672 後輩 「んちゅ、ちゅぶ、(頬に)ちゅううううはふ

673 ……れろ……(首筋にベロンと)れろお……ふふ、

674 せんぱあい……ちゅっ、ちゅちゅっ、せんぱい、

675 んちゅ、んん……ちゅぱっ、はぁはぁ……」

676 【一↓一ヨリ】

677 後輩 「ちゅう、ちゅちゅっ……もつと食べたくなっち

678 やう……はむ、れろれろれろお……んふっ、ふふ

679 先輩、なんだか物足りなさそう……♪」

680 【一ヨリ】

681 後輩 「もしかしてえ……耳をはむはむ……？ ペロ

682 ペロのリクエスト？ それともちゅぶじゅぶれ
683 ろれろ……？」

684 【一ヨリ】

685 後輩 「いずれにしても私のこの……んあ……（舌を出

686 したまま）ベロで……♪ たあゝっぷりい……ト

687 ロトロにしてあげますから……ね？」

688 【一ヨリ↓2ヨリ↓3ヨリ】

689 後輩 「（囁き）じっとしててくださいね……（口を開

690 けて耳元に近づく息遣いを）んあ……はあ、はあ

691 ……ああ……む………★」

692 耳舐め、まずは軽く。リスナーの耳を痛めないように弱めから

693 【3ヨリ】

694 後輩 「ちゅ……ちゅる……ちゅぶ……（舐めながら）

696 いつもよりしょっぱあい……」

697 【3ヨリ】

698

後輩

「れろ、れりゅ、んふ、ぺろっ……れろんっ、れろんっ、れろちゅっ……ん……はあはあ……ふー

700

っ……★先輩、もっと感じたところを見せてー

701

ーああむっ……ん、(鼻呼吸)ふー……ふー……!」

702

耳舐め(ミドル級)。唾液音をさっきより強くしながら。

703

【メモリ】

704

後輩

705

「ん……はみゅ、れちゅ、ちゅぶりゅ、れりゅ、ちゅりゅ、ちゅりゅりゅ……んちゅ、ちゅぶっ、

706

じゅぶっ、ちやぶ、ふふ……(囁き)熱い……♪」

707

【メモリ】

708

後輩

709

「(再び食らいついて) あむう……じゅるるっ、ちゅく、れりゅ、はあ……美味し……★ あむ、

710

ちゅりゅ、れりゅ、じゅるるっ、れちゅ、ちゅぶ、

711

れろれろれろ……んっ、はあ……はあ……ん

712

ああむっ……!」

713

【メモリ】

714

後輩

715

「じゅるるっ、ちゅぶる、れりゅちゅっ、じゅぶっ、れちゅちゅむ、ちゅむ……ちゅぶ、ちゅりゅ、

716

れるちゅ、れりゅれろれちゅちゅぶちゅくる、れ

717

718 ろれろれろお……はあ……はあ……先輩」

719 【3ヨリ】

720 後輩 「(舌を尖らせて)れあ……(耳穴に刺す・浅め)

721 ちゅぶ……れろれろれろ……ちゅばっ……はふ

722 ……もういちどお……ちゅぶっ……れろれろれ

723 ろ……れろん……はあはあ……可愛くてすごく

724 えっちい穴……はあはあ……れろれろれろれろ

725 ……ん……んんあ……はひ……はあ……はあ……

726 ……！ とっても気持ちよさそう……しえんぱあ

727 い……れじゅぶ……(ミドル級で耳穴なぶり)れ

728 ろれろれろれろれろれろお……ぷあ……」

729 【3ヨリ→6ヨリ】

730 後輩 「はあはあ……反対側もお……はあはあ……！」

731

732 逆の耳を責める。

733

734 【6ヨリ→7ヨリ】

735 後輩 「はあはあ……先輩のこっちの穴……もう待ち

736 きれないって感じ……♪ ふーっ……こっちも

737 いっぱい……(囁き)犯してあげますからね……」

738 【7ヨリ】

739 後輩

「あむ、れちゅ……ん……（耳に舌を。まだミドル級で）じゅぼお……はー、はー……んっく、れじゅじゅぶちゅぶれちゅちゅぶじゅぶれちゅじゅぶるるる……はあはあ……はむじゅ——れじゅちゅぶじゅぶれちゅじゅぶるるるるる……はあはあ……はむじゅ——」

745 【メモリ】

746 後輩

「れじゅじゅぶちゅぶれちゅちゅぶじゅぶれちゅじゅぶるるる……はあはあ……はむじゅるるるるるうううう——ん……はふ……はー……はー……ずっとひくひくして先輩かわいい……だからもう一回……」

751 【メモリ】

752 後輩

「れじゅじゅぶちゅぶれちゅちゅぶじゅぶれちゅじゅぶはじゅちゅぶれちゅじゅるぶじゅじゅるるるるる……はあはあ……はむじゅ——ぶあっ！ はあはあ……」

756 【メモリ】

757 後輩

「（囁き）だめ、私ガマンできない……はあはあ

758 ……先輩のえっちな耳の穴の奥の奥の奥の奥を
759 ——んあ……（舌を尖らせて）えあ……ん……じ
760 ゆぶじゅ、ん、（深く）んん……」

761 【7ヨリ】

762 後輩 「はあ……はあ……んく……ふえんふあい……
763 いたらきまあふ……」

764 耳奥責め（ヘビー級）かなりくぐもった音で

765 【7ヨリ】

766 後輩 「ぬちゅぬちぬぶちゅぬちい……美味ひ……」

767 【7ヨリ】

768 後輩 「ぬちゅちゅちくちゅぶぬちゅぬぐぐにぐに
769 ぐにちゅ、はあはあ……身体の力を抜いて……」

770 【7ヨリ】

771 後輩 「ぬちちゅちぬちぬぐぬちぬちい……んちゅ、ち
772 ゆぶ、ちゅくちゅ、ぬぶぶ……ぬちっ、ぬちっ、
773 ぬちっ、ぬちっ、ぬちっ、ぬちっ、ぬち
774 ゆううううう……ッ！」

775 【7ヨリ】

776 後輩 「（鼻呼吸）ふー……ふー……んっ、ぬちぬちぬ
777 ちぬちぬちぬちぬち……ん……（鼻呼吸）ふ
778

779

……ぬちぬちぬちぬちぬちぬちゅう……(鼻

780

呼吸)んふー……んっ、ぬちぬちぬちぬちぬちぬ

781

ちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬち

782

ぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬ

783

ちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬち

784

ぬちぬちぬちぬちぬちいいいい……ぬちゆ

785

ぬちゆじゆちゆぷちゆぶ……はあはあ……」

786

【フヨリ】

後輩

787

「(舐めたまま) 私も……なんだか……ん……ぬ

788

ちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬち

789

ぬちぬちぬちぬちぬちぬち……んっ、やつ

790

ぱり……んく……ベロでいっぱい感じちゃって

791

……はあ……んんっく……ぬちぬちぬちぬちぬ

792

ちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬち

793

ぬちちゆぷじゆちゆれちゆちゆぶじゆちゆちゆ

794

ぶりゆちゆむちゆ……」

795

【フヨリ】

796

後輩

「らめ、このままじゃ、んくっ、じゆちゆぬちぬ

797

ちゆぷちゆるちゆぷじゆちゆちゆちゆちゆちゆく

798 ちゅつる……ッ………！（鼻呼吸）ふー………ふー…

799 ……んっ、ぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬ

800 ちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬち

801 ぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬちぬ

802 ちあ………らめ、もお………（舌を引き抜く）ちゅっ

803 ば………！」

804
805 ※ここから音がクリアに。

806 【フヨリ↓ーヨリ】

807 後輩 「はあ………はあ………！ 頭の中………真っ白………

808 はあはあ………先輩、私………キスしたい………！」

809 【ーヨリ】

810 後輩 「（キス）んちゅ………！（ディープ）れちゅじ

811 ゆちゅずじゅうううううう………っ！」

812 【ーヨリ】

813 後輩 「はあはあ………もっと吸って………れじゅぶちゅ

814 じゅるるるる、私の、じゅぶじゅるるるる、べ

815 口を、じゅちゅじゅるるるる、はむっ………ん

816 っ、はふっ、んんっく！ や、らめ、あ、らめ、

817 あ、あ、あ、あ、あ、ああっ——（キスしたまま

818 ベロイキ）んんん~~~~~ッ！！！」

819 短い間

820

821 【ーヨリーヨリト】

822 後輩 「（唇をゆっくり離す）ちゅ……ぱ……はあ、は

823 あ、はあ……はふ、んく……らめ、身体に力が、

824 さつき、（恥）い、イツちゃったからあ……」

825 【ーヨリト】

826 後輩 「あっ……や、あ、あの……先輩？ 変な事を聞

827 いちゃうんですけど、私の身体に先輩の身体で熱

828 くなったも、ものが当たってます……これってま

829 さか……先輩のおちん……ちんがぼ、勃起——ひや

830 っ、い、いまビクンって！ だ、大丈夫ですか？」

831 【ーヨリーヨリト】

832 後輩 「もしかして痛かったですか？ ごめんなさい、

833 慣れてないから変な事をしちゃったかもひや

834 っ！ ま、またビクビクって……！ 先輩、これ

835 ってもしかして……気持ち……いいとか……？」

836 【ーーヨリ】

837 後輩 「あ、また……！ ずっとびくびくしっぱなし…

838 …んく……！ 先輩、見せてもらってもいいです

839 か……？ と、とても窮屈そうだし、なんだかズ
840 ボンが張ってるところもしつとりしてきた感じ
841 がして……私はただ、先輩のためにとって……決し
842 て私がエッチってわけじゃない……ような、そう
843 じゃないような……だめですかあ？」

844
845 先輩（リスナー）の返事を聞いている。
846 セリフにするなら「いい……けど」か。
847

848
849 【ーヨリ↓ーヨリ↓】

後輩 「先輩、じつとしててください、上手くできるか
850 わからないから、痛くしちやったら言ってください
851 いね……んしょ」

852
853 (SE) ベルトのバックルを外す。
854

855 【ーヨリ↓ーヨリ↓】

856 後輩 「いしょっ……と。チャック、降ろしますね」
857

858 (SE) jijiji……とチャックを降ろし、そのままズボンをズリ下げる音。
859 先輩はパンイチだ。
860

861 【ーヨリ↓】

862 後輩 「わわ……先輩のパンツ……ぱんぱんで、触って
863 ないのに、ひくひくしてて……先っぽもやっぱり

864 染みてる……！ 脱がしますね、ん……！」

865
866
867 (SE) パンツを脱がすと、反動でペニスが腹に当たってぺちん、と。

【一ヨリ下】

868 後輩 「ひあ……！ 私、勃起したおちんちんを見たの

869 初めて……！ 先っぽからヌルヌルしたガ……

870 ガマン汁が溢れてやらしく光ってる……！」

【一ヨリ】

872 後輩 「触ってみてもいいですか……！」

873
874 (SE) ぬち、とペニスを握る音

【一ヨリ下】

877 後輩 「熱い……！ そのままじつと……」

878
879 (SE) 粘着質な手コキ音（ゆっくり）。リピートで。

880
881 【一ヨリ】

882 後輩 「手コキ……これであってますか……？ 痛か

883 ったりしたら言ってくださいね。さっき勝手にイ

884 ツちゃったお詫びです……私ばかり気持ちよ

885 くなるのは……ね。力を抜いてリラックスしてて

886 ……ん、んんっ、は、はふ……んん……ビクビク

887 しっぱなしで……先っぽから我慢汁でえっちい

888

……はあはあ……んっ！」

889

(SE) 粘着質な手コキ音 (ミドル)。リピートで。

890

891

【ーヨリ】

892

後輩

「えへへ……ペースアップ……♪ もちろん手

893

894

コキは初めてですけど、実は、ちよっただけ勉強

895

したんです……例のえっちな動画サイトで……

896

あ、ちよっと軽蔑したでしょ……女の子だってエ

897

ッちな気持ちになることもあるんですからね……

898

……特に先輩の前だと、私は……ひあっ！ 今すぐ

899

く脈打った……興奮しちゃったんですか……も

900

う……ほら、目を閉じて私の声と手コキの感覚に

901

集中して……(囁き) 私、もっと先輩を気持ちよ

902

くさせますから……んく、んん……！」

903

【ーヨリ】

904

後輩

「すっごくヒクヒクで、くちゅくちゅしっぱなし

905

ですよ……はあはあ……先輩もとっても気持ち

906

よさそう。それを見てるだけで私もなんだか……

907

濡れちゃう……はあはあ、だめ……このままもっ

929 気持ちいい……れろれろれろれろれろ、
930 先輩、すっごく感じてる……れちゅぷ、ちゅ……」

931 【セリ】

932 後輩 「(口を離して囁き) もうガマン出来ない？ い
933 いですよ、伊ッても……私の手、先輩のせーして
934 ……メチャクチャにしてくださいね……！」

(SE) 粘着質な手コキ音(ミドル)。リピートで。

935
936
937 【セリ】

938 後輩 「はあはあ……私も一緒に気持ちよくなりたい
939 ……(耳を咥える)はむっ！」

耳奥舐め再び。ヘビー級。フィニッシュなので勢いよく。

940
941
942 【セリ】

943 後輩 「ぬちゅぬちちゅぷぬぷちゅぬちい……美味ひ
944 ……ぬちゅちゅちくちちゅぷぬちゅぬぐぐにぐ
945 にぐにちゅちぐちちゅぴちちゅぷ……はあはあ
946 ……ぬちちゅちぬちぬぐぬちぬちぬちい…
947 ぬちっ、ぬちっ、ぬちっ、ぬちっ、ぬち
948 っ、ぬちっ、ぬちゅううううう……ッ！ (鼻
949 呼吸)ふー……ふー……んっ、ぬちぬちぬちぬち

5. エンディング

980
981

(SE) アラーム音

982
983
【一左】

後輩 「あっ、もうお時間……お支度手伝います……」

985

主人公の身支度を手伝う後輩。ちんこをパンツの中にしまっている。

986
987
988
(SE) 衣擦れ音

989
【一右】

後輩 「いしよ……つと、んんっ……ふふ、ふにやふに

991
やおちんちん……可愛い……♪」

992
【一右】

後輩 「(ちんこに)ばいばい、またね♪ ちゅっ……

994
ちゅぶ、れちゅ……んん……?」

995
【一】

後輩 「ぶあ……だめですよ、先輩♪ もうお時間な

997
んですから勃起させても……ね? ん? じゃ

998
あどうしておしゃぶりをって? さ、さっきのは、

999
お別れのキス……ちよっと悪戯しちやいました

1000
けど、ふふっ。さあ、パンツのなかにお帰り……

1001
なんちゃって♪」

1002

1003 【一】

1004 後輩 「んしょ……っと……そうだ先輩……言ってお

1005 かなきやいけない事があって……」

1006 【一】

1007 後輩 「私、実はこの活動——あまあま耳舐めオナサポ

1008 委員会は今日でおしまいなんです。実は脱会処分

1009 になっちゃって……てへへ」

1010 【一】

1011 後輩 「というのも、委員になってからずっと、その…

1012 …先輩以外の人としなかったから……それじゃ

1013 委員会としては意味がないから、つまりクビ……

1014 みたいな……ね……？」

1015 【一】

1016 後輩 「あっ、そんな顔をしないでください。私も先輩

1017 とだけオナサポできてその、よかったなあ……

1018 的な、はい……」

1019 【一】

1020 後輩 「あの、だから先輩、えっと……てへへ……よけ

1021 ればこれからは先輩だけに舐め舐めシコシコす

1022 るプライベートなオナサポ……じゃ、だめ……？」

1023 【一】

1024 後輩 「私、先輩をもっとメロメロにさせるよう、耳奥

1025 とかもっと頑張りますから——」

1026 【一】

1027 後輩 「(キス) んちゅっ…… (舌を入れて) んりゅ、

1028 れちゅ、ちゅぷりゅ、れりゅ、りゅむりゅむちゅ

1029 ぶ…… (キスのまま気付いて) んぁ……っ!」

1030 【一】

1031 後輩 「ココお……やっぱりガチガチですう……♪

1032 もう、しょうがないなあ……じゃあ……ふふふ」

後輩、主人公の右耳元に。甘く囁くように——

1033 【2ヨリ】

1034 後輩 「(甘く) この後、私の家に寄りませんか?」

1035 【2→3ヨリ】

1036 後輩 「今夜、両親がいなくて……だから……ね?

1038 (耳元に移動) ふふっ」

1039 【3ヨリ】

1040 後輩 「(耳舐め) ちゅ、れちゅ、ちゅむ、ちゅぶ……

1041 (耳奥へ) ぐぬぐ……ち、ぐにぐにぐにぬちぬち

1042 ゆじちゅぶじゅるちゅぐにゆじゅぐ………」

1043

1044

セリフF/O。

1045

1046

1047

トラック7了

1048

(完)

1049

1050